

鉄鋼環境 基金ニュース

2014年10月28日

第57号

掲載内容

I. 第35回（2014年度）環境研究助成の決定について

I. 第35回（2014年度）環境研究助成の決定について

（公財）鉄鋼環境基金は、10月27日（月）に第15回臨時理事会を開催し、2014年度研究助成事業として一般助成研究：47件、若手助成研究：11件、合計：58件の研究に対して総額75.4百万円の助成金交付を決定いたしました。

2014年度の助成研究は、応募総数197件（一般：165件、若手：32件）の中から環境分野の学識経験者と鉄鋼業界の専門家で構成された技術委員会（委員長：坂本和彦 埼玉県環境科学国際センター総長・埼玉大学名誉教授）の厳正な審査により選定されました。

なお、当財団の研究助成事業は、1973年の設立以来、累計で1,624件 38億61百万円となっております。

（1）2014年度の応募・助成の概要

2014年度の応募・助成の概要は以下のとおりです。（括弧内は昨年度実績）

1. 応募総数は197件（190件）と昨年度に対して7件増加した。
2. 助成件数は58件（57件）であり、応募件数に対して29%（30%）が採用された。
3. 継続研究は応募件数34件（31件）に対して27件（25件）が採用された。応募に対する採用率は79%（81%）である。
4. 新規研究は応募件数163件（159件）に対して31件（32件）が採用された。応募に対する採用率は19%（20%）であった。
5. 新規研究のうち、初めて応募した研究者は64名（55名）であり、また、初めて助成を受ける研究者は18名（20名）が採用された。
6. 若手研究は応募件数が32件（38件）に対して11件（15件）が採用された。応募に対する採用率は34%（40%）であり、助成件数の19%（26%）となっている。
7. 大学からの応募は163件（154件）であり、このうち46件（48件）が採用された。
8. 工業専門学校からの応募は17件（20件）であり、このうち5件（4件）が採用された。
9. 独立行政法人他団体からの応募は17件（16件）であり、このうち7件（5件）が採用された。

	応募件数			助成件数		
	一般	若手	合計	一般	若手	合計
大気	43	4	47	16	1	17
水質	54	12	66	7	5	12
副産物	43	10	53	17	3	20
地球環境	23	5	28	6	2	8
エコ♾️	2	1	3	1	0	1
合計	165	32	197	47	11	58

(2) 第35回(2014年度)助成研究テーマ一覧

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
大 気	1	一般	坪内 直人	北海道大学 大学院工学研究院	安価な低品位褐鉄鉱を用いるコークス炉ガス中の含窒素化合物の分解除去法の開発	1,500	継続 2/3
	2	一般	関口 和彦	埼玉大学 大学院理工学研究科	PM2.5 中多環芳香族化合物に対する高効率迅速分析手法の開発	1,000	継続 2/2
	3	若手	三宅 祐一	静岡県立大学 環境科学研究所	臭素系難燃剤 HBCD のリスク低減のための焼却技術開発と燃焼副生成物質の網羅的把握	1,000	継続 2/2
	4	一般	野田 和俊	(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	現場環境下で容易に測定できる水銀検知手法の開発	1,500	継続 2/3
	5	一般	和田 匡司	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	固定発生源からのPM2.5質量濃度測定のための自動吸引条件最適化システムの開発	1,000	継続 3/3
	6	一般	奥田 知明	慶應義塾大学 理工学部	生体有害性評価のためのPM2.5の包括的物理化学特性の解明	1,000	継続 2/2
	7	一般	村尾 直人	北海道大学 大学院工学研究院	センサーを用いたPM2.5汚染監視システムの構築	1,000	1/3
	8	一般	二宮 善彦	中部大学 工学部 応用化学科	低品位石炭の燃焼過程から発生する微小粒子状物質の低減に関する研究	1,500	1/3
	9	一般	猪俣 敏	(独)国立環境研究所 地球環境研究センター	ガス-粒子間反応でのオリゴマー化による粒子成長に関する研究	1,500	1/2
	10	一般	定永 靖宗	大阪府立大学 大学院工学研究科	東アジアから輸送されるPM2.5主要成分の中日本地域への影響	1,500	1/2
	11	一般	長門 研吉	高知工業高等専門学校 機械工学科	強電場を用いた大気ナノ粒子分析法の開発	1,500	1/2
	12	一般	則末 和宏	新潟大学 理学部 自然環境科学科	海洋化学的アプローチに基づく大気汚染重元素の地球表層循環像の解明	1,500	1/2
	13	一般	鳥羽 陽	金沢大学 医薬保健研究域	PM2.5に含有される有害多環芳香族炭化水素類に関する大気微小環境の評価	1,500	1/2
	14	一般	永淵 修	滋賀県立大学 環境科学部環境生体学科	大陸から輸送される水銀と粒子状物質の起源と輸送拡散機構の解明	1,500	1/2
	15	一般	畠山 史郎	東京農工大学 大学院 農学研究院	東京郊外におけるPM2.5化学成分の粒径別解析	1,500	1/2
	16	一般	猪股 弥生	(一財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター	硫黄同位体比による微小粒子の発生源寄与解析	1,500	1/2
	17	一般	長谷川就一	埼玉県環境科学国際センター	有機炭素分析を利用したPM2.5の発生源寄与推定の高分解能化	1,500	1/2
水 質	18	一般	片山 浩之	東京大学 大学院工学系研究科	鉄系凝集剤を用いた雨天時合流式下水の迅速処理法の衛生評価	1,500	継続 2/2
	19	若手	押木 守	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	鉄還元型嫌気性アンモニア酸化プロセスによる超省エネルギーかつ省コストな窒素除去技術の創出	1,000	1/2

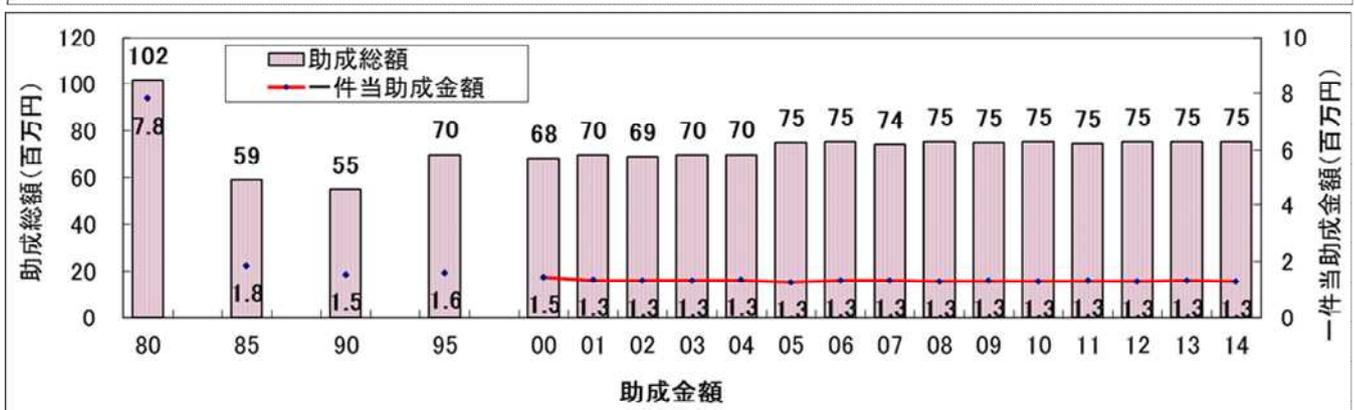
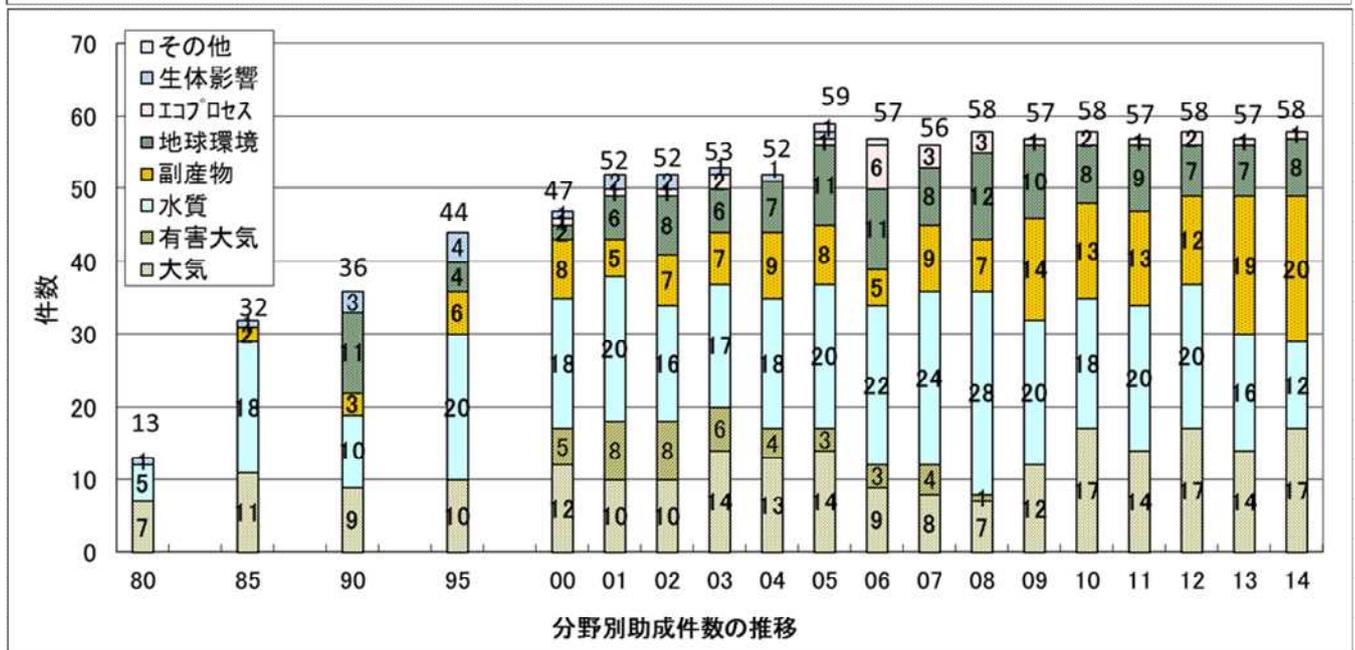
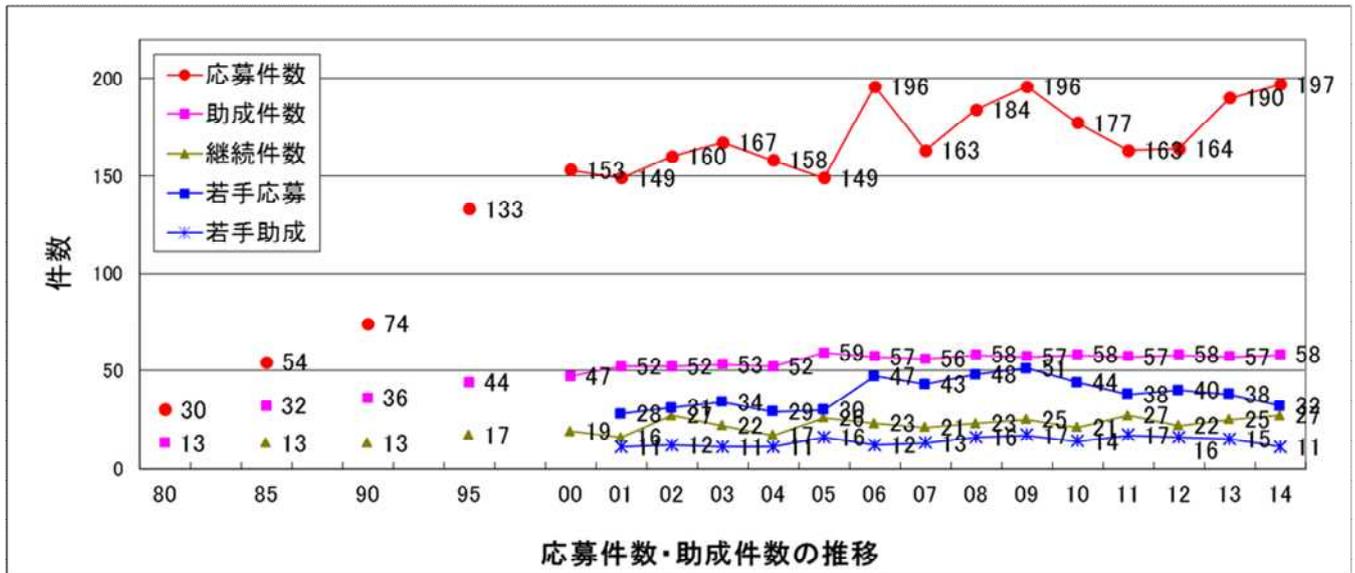
分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
水 質	20	一般	浅枝 隆	埼玉大学 大学院理工学研究科	車軸藻による水中の重金属類除去システムの構築	1,000	継続 3/3
	21	一般	児玉谷 仁	鹿児島大学 大学院理工学研究科	水銀汚染土壌におけるメチル水銀の生成とその周辺環境への影響評価	1,000	継続 3/3
	22	一般	佐藤 久	北海道大学 大学院工学研究院	水中亜鉛の現場分析法の開発と水生生物生態影響機構の解明	1,500	継続 2/2
	23	若手	藤森 崇	京都大学 大学院地球環境学堂	表層媒体中鉛・銅の化学形態に基づくリスク評価	1,000	継続 2/2
	24	一般	濱村奈津子	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	微生物による重金属変換プロセスの基質特異性を利用したレアメタルの選択的回収に関する研究	1,500	1/2
	25	一般	開発 一郎	広島大学 大学院総合科学研究科	東日本大地震の津波被災による土壌-地下水の汚染解析と地下水水質レジリアンスの解析	1,300	継続 2/2
	26	若手	川崎 一雄	富山大学 大学院理工学研究部	環境磁気的手法を用いた鉱滓捨て場中の植生と重金属の挙動の研究	1,000	1/2
	27	若手	山岡 香子	(独)産業技術総合研究所 地質情報研究部門	カドミウム・鉛同位体を用いた環境汚染評価手法の開発	1,000	1/2
	28	一般	宮脇 崇	福岡県保健環境研究所	震災ガレキ集積場跡地の再利用のための土壌診断法の開発	1,000	1/1
29	若手	對馬 育夫	(独)土木研究所 水環境研究グループ	海域底質に含まれる放射性セシウムの溶出メカニズムの解明	900	継続 2/2	
副 産 物	30	一般	菊本 統	横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院	鉄鋼スラグの水硬性を活かした粘り強い土構造物の研究	1,500	継続 2/3
	31	一般	松田 仁樹	名古屋大学 大学院工学研究科	鉄鋼スラグへのカルシウム化合物の高温溶解-安定化ダイナミクス	1,500	継続 2/2
	32	一般	澁谷 啓	神戸大学 大学院工学研究科	鉄鋼スラグを用いた粘り強い補強土壁防潮堤構築に関する研究	1,500	継続 2/2
	33	一般	奥田 哲士	広島大学 環境安全センター	水環境における製鋼スラグ由来の析出物生成メカニズムの解明と制御	1,500	継続 2/2
	34	一般	濱 幸雄	室蘭工業大学 大学院工学研究科	環境負荷を低減する汎用型高炉セメントの創生	1,500	継続 2/2
	35	若手	桑原 泰隆	大阪大学 大学院工学研究科	高炉スラグを原料としたリン吸着材の合成と実排水からの効率的リン回収・再資源化技術の開発	1,000	継続 2/2
	36	一般	山末 英嗣	京都大学 エネルギー科学研究科	アルカリ炭酸塩を用いた鉄鋼スラグからのリン回収	1,500	1/2
	37	一般	井上 亮	秋田大学 国際資源学部	ステンレス溶製スラグの無害化処理法の検討	1,500	1/2
	38	一般	佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院	カルシア改質土の硬化メカニズムの解明と硬化後物性の予測	1,500	1/2
	39	若手	橋本 勝文	北海道大学 大学院工学研究院	高炉スラグ微粉末を用いた放射性廃棄物セメント水和固化体の長期変質挙動	1,000	1/2

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
副産物	40	若手	高橋 利幸	都城工業高等専門学校 物質工学科	高い植物吸収性を示すケイ酸塩微生物コーティング化スラグ肥料の開発	1,000	1/2
	41	一般	杉本 憲司	宇部工業高等専門学校 物質工学科	藻場ネットワークを考慮した藻場造成適地モデルの開発	1,500	1/2
	42	一般	伊藤 公久	早稲田大学 基幹理工学部応用数理学科	鉄鋼スラグの環境調和性向上を目指したシミュレータと評価法の開発	1,500	1/2
	43	一般	三木 理	金沢大学 理工研究域	大型褐藻を用いた鉄鋼スラグの安全性評価手法の開発	1,000	継続 3/3
	44	一般	日比野忠史	広島大学 大学院工学研究院	ヘドロ浄化を促進させる鉄鋼スラグの効果的な利用法を確立する	1,000	継続 3/3
	45	一般	今井 剛	山口大学 大学院理工学研究科	発展途上国に適用可能な養殖池への鉄鋼スラグカートリッジと液膜式酸素供給方法とのハイブリッド型新規水質浄化システムの開発	1,000	継続 3/3
	46	一般	橋本 洋平	東京農工大学 生物システム応用科学府	鉄鋼スラグを利用した水田土壌のカドミウムとヒ素の同時不溶化	1,490	1/1
	47	一般	鈴木 祥広	宮崎大学 工学部 社会環境システム工学科	海産藻類を用いた生物応答試験による鉄鋼スラグの環境適合性評価	1,500	1/1
	48	一般	北村 信也	東北大学 多元物質科学研究所	選択浸出による製鋼スラグからの燐の分離抽出	1,250	継続 2/2
	49	一般	コマロフ セルゲイ	東北大学 大学院環境科学研究科	強力超音波印加による鉄系ダストからの垂鉛回収プロセスの高効率化	1,440	1/2
地球環境	50	一般	村上 太一	東北大学 大学院環境科学研究科	極低環境負荷バイオマス製鉄に向けた原料設計	1,500	継続 2/2
	51	一般	大久保雅章	大阪府立大学 大学院工学研究科	燃焼機器排ガス中の二酸化炭素吸蔵・プラズマ燃料化システム	1,500	継続 2/2
	52	若手	夏井 俊悟	北海道大学 大学院工学研究院	高反応性原料の3次元ヘリカル構造による低炭素高炉の固気流れ安定化	1,000	継続 2/2
	53	一般	埜上 洋	東北大学 多元物質科学研究所	低炭素操業下の高炉融着帯の溶融・流動制御技術開発	1,500	1/3
	54	一般	篠竹 昭彦	帝京大学 理工学部 機械・精密システム工学科	高炉羽口先の多種還元材吹き込みに対応する燃焼モデルの開発	1,000	1/3
	55	一般	植田 滋	東北大学 多元物質科学研究所	高炉内コークス充填層での液流れ促進による低炭素操業の達成	1,500	1/2
	56	一般	檀浦 正子	京都大学 大学院農学研究科	炭素安定同位体ラベリング手法と nanoSIMS を組み合わせた、森林樹木組織への炭素固定化の解明	1,500	継続 2/2
	57	若手	金指 正言	広島大学 大学院工学研究院	CO ₂ 分離を目的とした吸着親和性と分子ふるい性を併せ持つスマートシリカ膜の創製	1,000	1/2
エコプロ	58	一般	則永 行庸	九州大学 先端物質化学研究所	石炭熱分解生成物詳細組成分析と詳細化学反応速度モデルに基づくコークス製造に伴う多環芳香族炭化水素(PAH)生成機構の解明	1,500	1/2

注 1)若手:2014 年 4 月 1 日現在の満年齢が 35 歳以下の研究者

注 2)研究期間:a/b;研究期間 b 年中 a 年目、継続;継続案件

(3) 鉄鋼環境基金の助成実績



事務局だより

役員の変更

【理事の変更】

就任 (平成 26 年 6 月 20 日付)

小倉 滋 JFEスチール株式会社 専務執行役員
 坂本 和彦 埼玉県環境科学国際センター総長・埼玉大学名誉教授
 脇本 眞也 一般社団法人日本鉄鋼協会 専務理事
 丸川 裕之 新日鐵住金株式会社 環境部長

辞任 (平成 26 年 6 月 20 日付)

青木 宏道 新日鐵住金株式会社 執行役員
 小島 彰 一般社団法人特殊鋼倶楽部 専務理事
 石井 邦彦 JFEスチール株式会社 製鉄技術部長

定年 (平成 26 年 6 月 20 日付)

松尾 友矩 東洋大学常務理事・東京大学名誉教授

就任 (平成 26 年 7 月 18 日付)

桑迫 宏和 新日鐵住金株式会社 環境部長

辞任 (平成 26 年 7 月 18 日付)

丸川 裕之 一般社団法人日本プロジェクト産業協議会

【評議員の変更】

就任 (平成 26 年 8 月 1 日付)

吉村宇一郎 石油連盟 常務理事
 青木 宏道 新日鐵住金株式会社 執行役員
 松本 剛 JFEスチール株式会社 スラグ事業推進部長

辞任 (平成 26 年 8 月 1 日付)

波田野純一 元 石油連盟 常務理事
 小倉 滋 JFEスチール株式会社 専務執行役員
 丸川 裕之 新日鐵住金株式会社 環境部長

鉄鋼環境基金ニュース 第57号

2014年10月28日発行

発行所：(公財) 鉄鋼環境基金

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6階

Tel : 03-5652-5144 Fax : 03-5641-2444

E-mail : sept.senmu@pony.ocn.ne.jp

URL : <http://www8.ocn.ne.jp/~sept/>

発行人：専務理事・事務局長 中島 康久